

新潟地方気象台から発表された1か月予報(5月24日～6月23日)では、気温が高くなり、平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込みとなっています。

昨年の生育量が大きく稻わら残渣が多いことから、地温の上昇に伴い、ワキ(メタンガス)が発生しやすく、根を痛めることができます。その場合、用水の入れ替えなどを行い、土壤へ酸素を供給して根の健全化を図りましょう。

稲作技術情報

『適期中干し』

～生育量を適正に調節して、稲体に負担を掛けない管理をしましょう～

過剰生育後にムダな茎を淘汰することは、稲体に負担をかけ、後期栄養不足にもつながります。「適期中干し」で無効分けつを抑え、その分の栄養を有効的に利用できる環境を作りましょう。また、酸素供給による根の健全化や倒伏軽減により、品質向上につながります。

- 1. 田植え後25日を目安に茎数を確認！
- 2. 中干しの開始目安は茎数15～18本！
- 3. 溝切り実施で圃場内の入排水性向上！
- 4. 過度な中干しに注意し、小ヒビ程度で終了！
- 5. 中干し終了は7月5日頃まで！
- 6. 中干し後は積極的なケイ酸補給！

1. 田植え後25日を目安に茎数を確認！

田植え後の天候に関わらず、田植え後25日を目安に生育を確認し、中干し開始時期が遅れないよう適期作業を心掛けましょう。また、下位節間の伸長抑制による倒伏軽減効果もあるため、重要な作業となります。

- 右記の図を参考に茎数(主茎・分けつ)を数え、圃場全体と照らし合わせ、生育量を確認しましょう。
- 圃場毎に生育量に違いがあるため、1圃場につき1株以上の茎数を確認しましょう。

※中干し開始の遅れは、下位節間の伸長による倒伏助長や茎数過剰による品質低下の恐れがあります。

2. 中干し開始の目安は株あたり茎数15～18本！

中干し開始の目安は、目標穗数の8割です。

管内の目標穗数：350本/m²

→8割：280本/m²

60株植え：15本/株程度
50株植え：18本/株程度

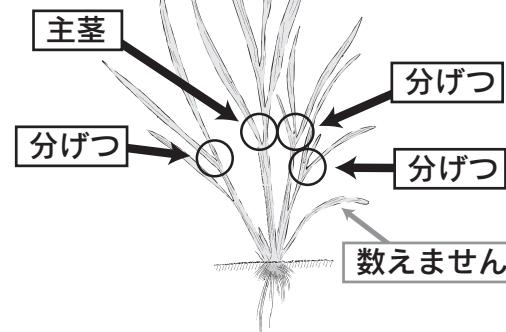
茎数の確認方法

【茎数の数え方】

- 2葉以上、葉がある茎を茎数に数えます。
- 葉が1枚のものは数えません。

田面からここまで長さ(高さ)が「草丈」です

この模式図では主茎の他に分けつか3つ確認できるので、茎数は「4本」となります。



【中干し開始適期の圃場】



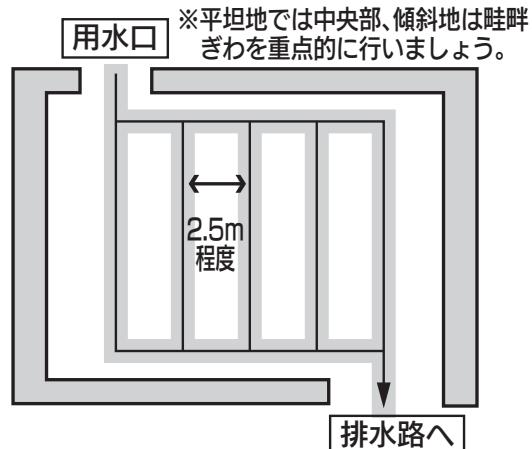
※中干し開始の適期は田面がはっきり見えるときです。隣の条との間が隠れ始めてからでは遅いので、圃場の状態をよく確認しましょう！

3. 溝切り実施で圃場内の入排水性向上!

中干しの効果を高め、中干し終了後の水管理を容易にするために溝切り作業を実施しましょう。

POINT!

- 溝は深さ10cm以上確保しましょう。
- 各溝の末端と水口・水尻は必ず繋げましょう。
- 溝の本数は10a当たり6~8本が理想ですが、圃場条件に合わせて数を調整しましょう。



4. 過度な中干しに注意し、小ヒビ程度で終了!

中干しの程度は、圃場中央の田面に小ヒビが入り、歩いて軽く足跡がつく程度が理想です。

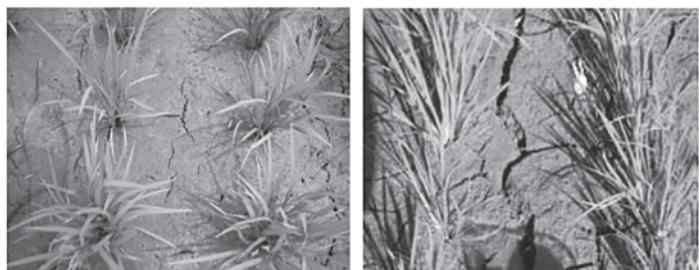
中干しが弱いとき

生育過剰や倒伏による収量・品質の低下を助長

中干しが強いとき

根が切れ活力低下や登熟不良による品質低下を助長

適度な中干し(小ヒビ) 過剰な中干し(大ヒビ)



水持ちに応じて開始・終了時期を調節し、収量と品質が安定する環境づくりを目指しましょう!

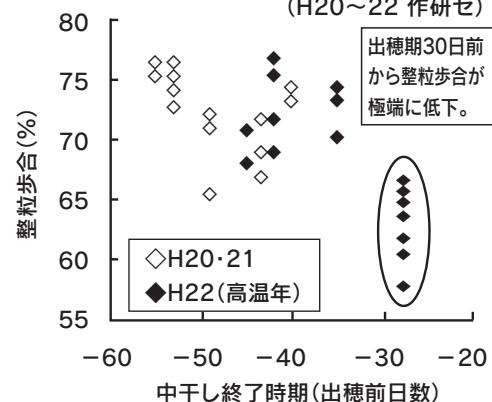
5. 中干し終了は7月5日頃まで!(出穂期1ヶ月前)

穂が形成される時期まで中干しを行うと、根域の縮小などの影響により整粒歩合の低下を招く恐れがあるため、遅くとも出穂1ヶ月前までに中干しを終了しましょう。

中干し終了後は、発根促進と根の健全化のため、常時湛水はせずに、水尻を止めた状態で入水と自然減水を繰り返す水管理を行いましょう。

【中干し終了時期と整粒歩合】

(H20~22 作研セ)



6. 中干し後は積極的なケイ酸補給!

基肥にケイ酸を施用していない場合、中干し終了～1回目穂肥時期にケイ酸質肥料を中間追肥として積極的に施用しましょう。

効果としては、稻体の受光態勢の向上、稻体の活力維持、病害への抵抗性増加、高温時の葉面温度上昇抑制が期待されますので、積極的に施用しましょう。

肥料名	保証成分量% (他含有成分量%)	基準施用量 (kg/10a)	使用時期	特徴
魚沼口マン グルメエース	リン酸:6 苦土:10 マンガン:0.1 ホウ素:0.1 (ケイ酸:約16 銅・鉄・亜鉛:微量要素)			リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量要素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。
スーパーシリカ プレミアム	ケイ酸:30 アルカリ分:40 苦土:2 (リン酸:2.7 マンガン・鉄:微量要素)	20~40	6月下旬 ~ 7月上旬	高溶出のケイ酸を含有しているため効率よくケイ酸投入できる。
とれ太郎	リン酸:6 苦土:12 ケイ酸:30 アルカリ分:40 (石灰:34~38 鉄:3~4)			ケイ酸の他にリン酸、苦土、石灰をバランスよく含んでいる総合的な土づくり肥料。
けい酸加里 プレミア34	カリ:20 苦土:4 ホウ素:0.1 ケイ酸:34 (鉄:2~5 アルカリ分:7~12)			ケイ酸分を豊富に含み、また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。

～田植え後の本田管理と中干し前後の雑草対策について～

1. ワキ・藻類（アオミドロ）・表層剥離対策

生わら等の有機物分解によって発生する有毒ガス（ワキ）と藻類（アオミドロ）・表層剥離は地温の上昇に伴い多くなります。場合によっては、夜間落水や早めの薬剤防除（モゲトン剤）も検討し、除草剤効果の低下や薬害、分けつの抑制などのリスクを回避しましょう。

2. 後発雑草へのおすすめ除草剤

中干し前後に発生を確認した雑草については、状況に合った除草剤を適切に使用しましょう。

品名	成分数	使用量 (10aあたり)	使用時期	使用方法	適用雑草					
					ノビエ	ホタルイ	クログワイ	オモダカ	クサネム	
クリンチャー	1キロ粒剤	1	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布	4葉期	×	×	×	×
			50g×20個 (1kg)	移植後7日～ ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布	4葉期	×	×	×	×
トドメMF	1キロ粒剤	1	1kg	移植後14日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	湛水散布	5葉期	×	×	×	×
			散布薬量： 200ml 希釀水量： 25～100ℓ	移植後14日～ ノビエ7葉期 但し、収穫50日前まで	湛水散布 又は 落水散布	7葉期	×	×	×	×
ナイスミドル	1キロ粒剤	3	1kg	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	4葉期	4葉期	10cm	矢尻葉 抽出前	×
ゲパード	1キロ粒剤	4	1kg	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	4葉期	花茎 20cm	30cm	矢尻葉 3葉期	×
			40g×10個 (400g)	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	4葉期	花茎 20cm	30cm	矢尻葉 3葉期	×
バサグラン	粒剤	1	3～4kg	移植後15日～ 収穫45日前まで	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布	×	増殖 中期	15cm 以下	発生 初期	×
			散布薬量： 500～700ml 希釀水量： 70～100ℓ	移植後15日～ 収穫45日前まで		×	増殖 中期	15～ 30cm	増殖 初期	本葉 展開期
クリンチャー バスME	液剤	2	散布薬量： 1000ml 希釀水量： 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布	5葉期	増殖 中期	発生 盛期 10～ 20cm	発生 盛期 5～ 15cm	×
トドメバスMF	液剤	2	散布薬量： 1000ml 希釀水量： 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ6葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布	6葉期	花茎 40cm	20cm	矢尻葉 3葉期	×
ワイードコア	1キロ粒剤	3	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	4葉期	4葉期	20cm	約30cm	約30cm
アレイルSC	水和剤	2	散布薬量：500ml 希釀水量： 50～100ℓ (通常) 25～50ℓ (少量)	移植後20日～ ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布 又は 落水散布	5葉期	花茎 20cm	70cm	矢尻葉 3葉期	約50cm

※使用前には、ラベルの確認を行いましょう。

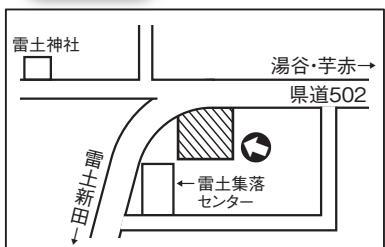
令和7年産米 中干し指導会のご案内

安定した品質・収量の確保に向けて重要な基本技術である「中干し」について指導会を開催します。適期に中干しを開始することで過剰生育の防止による良質茎の確保と倒伏防止を図りましょう。多くの方よりご参加をお待ちしております。

開催日程表《大和会場》

東地区

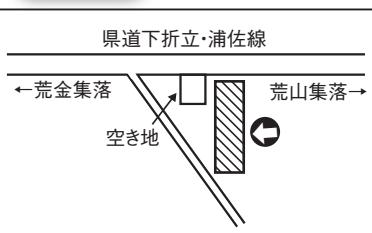
《雷土》



開催日時

6月16日(月)
夕方 18時30分~

《桐沢》

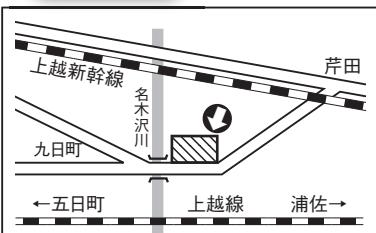


開催日時

6月16日(月)
夕方 18時30分~

敷神地区

《九日町》

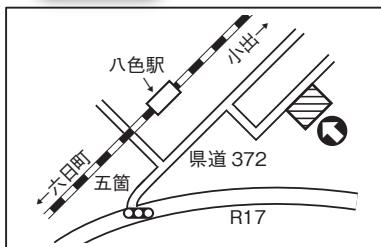


開催日時

6月13日(金)
朝 6時~

浦佐地区

《五箇》

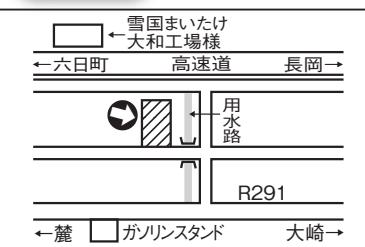


開催日時

6月13日(金)
朝 6時~

大崎地区

《水尾》



開催日時

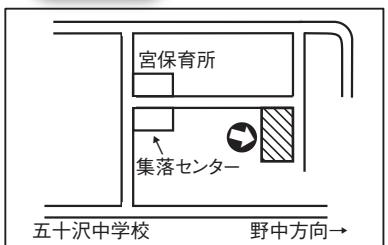
6月13日(金)
夕方 18時30分~



開催日程表《六日町会場》

五十沢地区

《宮》



開催日時

6月13日(金)
夕方 18時30分~

六日町地区

《欠ノ上》



開催日時

6月13日(金)
朝 6時~

城内地区

《新堀》

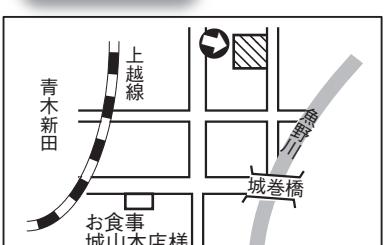


開催日時

6月13日(金)
夕方 18時30分~

大巻地区

《青木新田》



開催日時

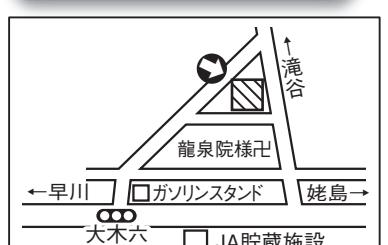
6月16日(月)
夕方 18時30分~



開催日程表《塩沢・湯沢会場》

塩沢地区

《しおざわカントリー》

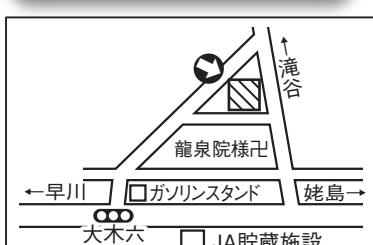


開催日時

6月13日(金)
夕方 18時~

塩沢地区

《しおざわカントリー》

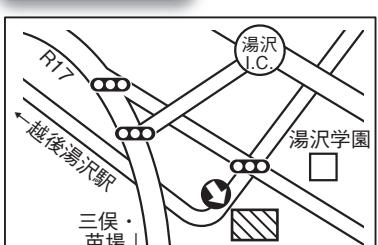


開催日時

6月14日(土)
朝 7時30分~

湯沢地区

《湯沢支店》



開催日時

6月16日(月)
午後 13時30分~

夏野菜の栽培管理について



1. 仕立て（整枝）方法

仕立て（整枝）を行うことにより、収穫量の増加や収穫期間が期待できます！

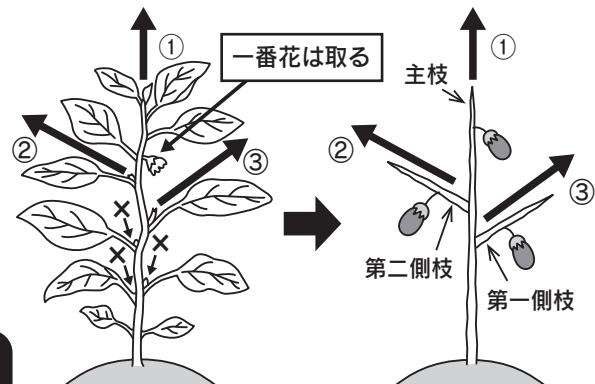
（1）ナス

「三本仕立て」が一般的です。

1番花の咲く主枝（①）、主枝のすぐ下の側枝（②）、更に下の側枝（③）の3本を伸ばしてそれ以外は取ります。

葉が増えたら、通風と果実の日照向上のために、老葉の摘葉を行いましょう。

POINT! 1番花（果）を残しておくとその後の生育負担となります
大きくなる前に早めに摘みとりましょう。



（2）トマト

「一本仕立て」が一般的です。

主枝（①）を1本だけ伸ばし、わき芽はすべて取り除きます。（図1）

植え付け後に過繁茂にならないよう、第1花房は確実に着果させましょう。（図2）

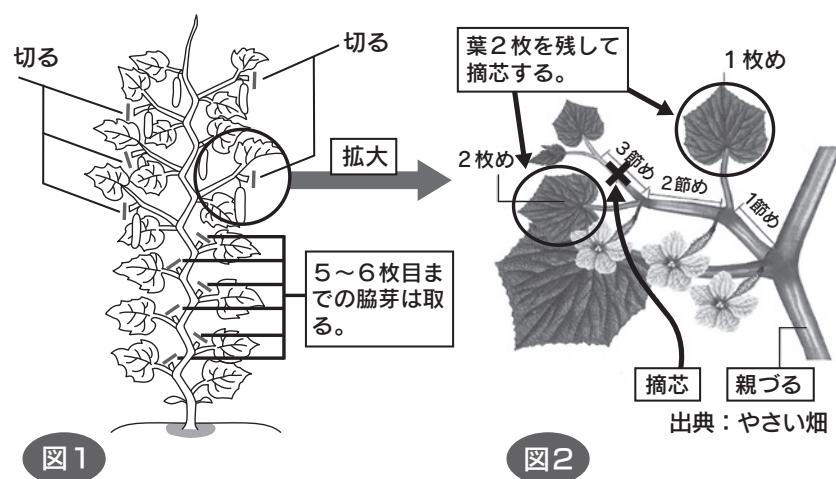


出典：やさい畠

（3）キュウリ（柴）

親づるは支柱で誘引し、本葉5～6枚（節）までのわき芽はすべてかき取ります（図1）。

伸ばしたわき芽（子づる）も3節目以内で止めます。孫づる、ひ孫づるも同様に葉2枚を残してその先で摘芯しましょう（図2）。また、葉が混み合った場合は、適宜摘葉を行いましょう。



出典：やさい畠

POINT!

- 下位節からの実は奇形になりやすいです。わき芽の時点で早目に摘みましょう。
- 風通しが悪くなると病気が出やすくなります。重なりあっている大きな葉については適度にかき取り、被害葉は早目に取り除きましょう。

2. 追肥

(1) ナス

生育期間が長いので、肥切れにならないよう収穫開始後からは、葉や花の生育や果実の状態を見ながら追肥と灌水を行い、草勢維持に努めましょう。

生育後半に草勢が落ちてきた場合は、追肥の間隔を短くして灌水も行い肥効を促進させましょう。
(液肥などの灌注は即効性あり)

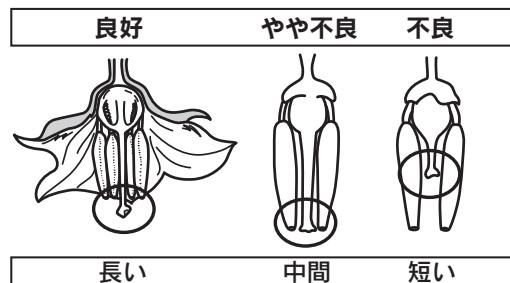
＜追肥例（追肥量・間隔）（10m²あたり）＞

★1回の施肥量：NK化成200g程度 ★間隔：10～15日間隔（生育状態を見ながら）

～栄養状態参考図～



栄養状態やや不良（茎葉）
花より上に4～5枚葉があると順調です



栄養状態例（花：雌しべの長さ）

雄しべより雌しべ（花柱）が長いと良いです

(2) トマト

第3花房が開花するころから、生育の具合や第1花房の着果数・果実の太り具合を見ながら追肥をします。成長点付近の葉が細くなり、草勢が弱くなってきた頃が目安です。

また、草勢が極端に強い場合は、わき芽を伸ばして2本仕立てにすると、ある程度草勢を抑えることができます。

＜追肥例（追肥量・間隔）（10m²あたり）＞

★1回の施肥量：NK化成150～200g程度 ★間隔：10～15日間隔（生育状態を見ながら）

～栄養状態参考図～



(3) キュウリ

肥料と水分が不足すると果実の品質が落ちて食味も悪くなります。

本葉が6枚になるまでに咲く雌花・側枝はできるだけ早めに除去し、追肥は収穫の初期から生育・果実の状態に注意して、灌水と組み合わせて草勢を落とさないようにしましょう。

＜追肥例（追肥量・間隔）（10m²あたり）＞

●1回の施肥量：NK化成200～300g程度
●間隔：7～10日間隔（生育の状態を見ながら）

栄養状態
やや不良



出典：やさい畠

【主な追肥肥料】

品名	効果
NK化成	野菜全般の追肥に使用可能。速効性の硝酸態窒素を多く含み、追肥に適している。
燐硝安加里1号	野菜全般の追肥に使用可能。速効性の硝酸態窒素を多く含み、追肥に適している。 また、土壤を酸性化させない。
くみあい液肥2号	野菜全般の追肥に使用可能。粒状肥料に比べ即効性あり。

3. 梅雨時期の野菜管理

梅雨時期は雨の日が続き、水はけの悪い畠では野菜の**生育不良**や**病気**になりやすい。

- (原因) • 畠に水がたまり、根の働きが悪くなり生育が滞り、病気に対する抵抗力が弱まる。
• 雨水による泥の跳ね上がりにより、多くの病原菌が作物に付着し、湿度の高い条件も重なり急激に増殖する。

対策

- ・梅雨入り前に畠に溝を掘り、排水を良好にする。（額縁排水溝…あぜみちNo.3・P4参照）
- ・敷きわら・マルチを敷き、雨水による泥のはね上がりを防ぐ。雨よけを設置する。
- ・密植・過繁茂を避け、風通しを良くする。適正な剪定を行う。
- ・病気にかかった野菜の茎・葉・根などは早めに除去し、畠の外に運び出して病気のまん延を防ぐ。
- ・日々観察し、病害虫の早期発見・早期防除が重要。

上記対策を行った上で、殺菌剤など薬剤防除を行い発生予防に努めましょう。

品目	病害虫	主な症状・被害	防除薬剤（例）
キュウリ	べと病	葉に小さな斑点が発生し、徐々に広がっていく。症状が進むと葉裏にスス状のカビが発生し、のちに枯死する。	【予防】 ・ダコニール 1000 ・Zボルドー
トマト・ナス ピーマン	疫病	水がしみたような褐色の病斑が葉先から広がり、茎や果実にも発生。果実が凹み、腐敗・枯死する。	【予防+治療】 ・ベンレート水和剤 ・アミスター 20 フロアブル 等
4種共通	灰色かび病	特に果実での被害が大きく、果実を軟化・腐敗させ、のちに灰色のカビが密生する。	・マラソン乳剤 ・アディオン乳剤 ・モペント フロアブル 等
	うどんこ病	葉表に粉を吹いたような円形の白いカビが発生し、症状が進むと枯死する。	
	アブラムシ類	主に葉裏や新芽部分に寄生・吸汁し、成長を阻害する。吸汁による害のほか、各種ウイルス病を媒介する。	
	ハダニ類	下葉から発生し、葉表がカスリ状に白く色が抜ける。	

※農薬を使用する際は、登録作物名・使用方法・倍率等を確認し正しく使用しましょう。

～組合員の皆様へ～

適切な積載にご理解とご協力を！

荷を積載する際は、タイヤの空気圧を事前に確認するとともに、適切な重量、落下防止、車体からのはみ出し等が無いよう注意し、事故防止に努めましょう！



SNSによる営農情報の配信(LINE)

JAみなみ魚沼では、LINEによる営農情報の配信を行っており、LINEでは、最新の気象情報や水稻、西瓜、園芸品目などの栽培情報などを配信いたします。

メール配信では無かった、画像を添えた配信などもありますので、多くの方からのご登録をお願いいたします。
(スマートフォンアプリLINEをインストールする必要があります。)

スマホのカメラを起動し、左にあるQRにかざすと読み込めるよ！



次号「あぜみち」予告

- 稲作…穂肥について
- 園芸…越冬用キャベツ、ニンジンの播種について

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786 ◎アグリセンター六日町 TEL773-6121
◎しおざわ基幹センター TEL782-1171